

経営比較分析表（平成30年度決算）

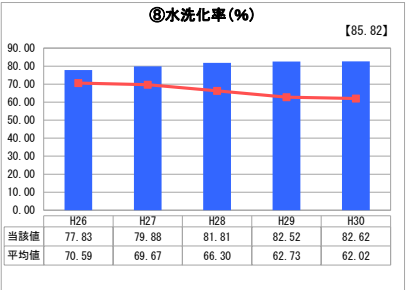
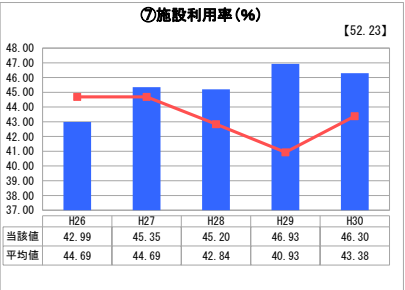
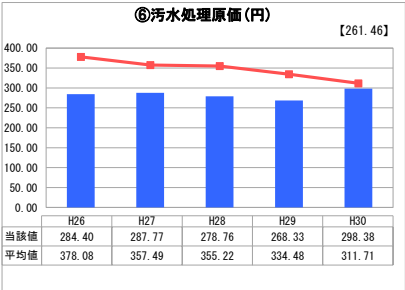
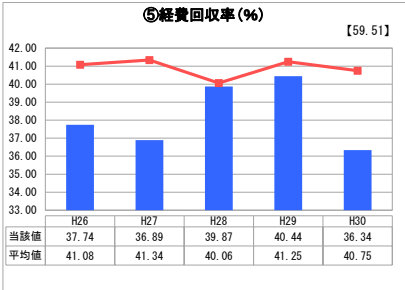
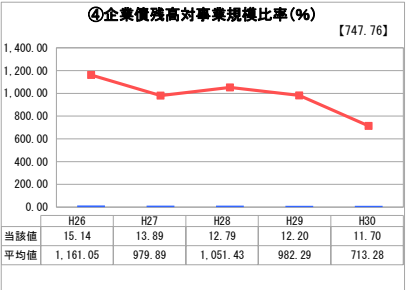
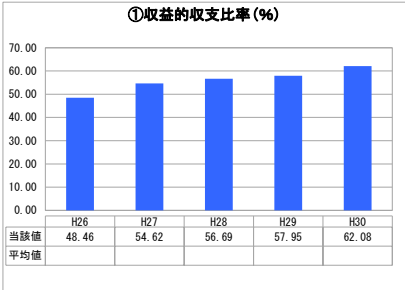
埼玉県 川越市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	0.68	100.00	2,829

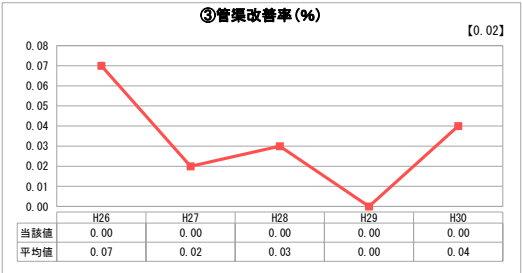
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
353,115	109.13	3,235.73
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,394	0.67	3,573.13

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
指標数値自体は低いもの、地方債の償還が進んでいるため、上昇傾向にある。今後も一般会計からの繰入金に依存するが、料金収入の確保と維持管理費の適正化により、比率の向上を目指す。

④企業債残高対事業規模比率
類似団体と比較すると、低い数値で推移している。毎年度の確実な償還によって、減少している。

⑤経費回収率
類似団体と比較すると、ほぼ同水準の推移となっている。30年度は修繕等により、処理維持管理費が上昇したため、下がったが、今後も適切な維持管理に努める。

⑥汚水処理原価
類似団体と比較すると、やや低い状態を示す。今後も適切な維持管理を行い、原価維持に努める。

⑦施設利用率
類似団体と比較すると、やや高い数値で推移している。今後も施設の適切な維持管理に努める。

⑧水洗化率
類似団体と比較すると、高い数値で上昇傾向を示す。今後も高い数値を維持するため、更なる接続促進に努める。

2. 老朽化の状況について

市内2箇所にある農業集落排水処理施設（鴨田地区、石田本郷地区）の供用開始は、平成18年及び同24年と近年であるため、老朽化には該当せず、管渠の更新は行っていない。

全体総括

今後も、健全な事業経営の継続のため、施設の適切な維持管理と使用料収入の確保に努める。また、将来の施設の老朽化を見据えて、改善計画を検討する。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。